

沿革

2004.3 アクロスユーは、国土交通省、経済産業省、外郭団体より先進国（1958年協定＝国連欧州経済委員会）の法規、基準関係に携わった立場から「中国の貿易、経済政策の展開」を背景に日本政府がアジア地域（とりわけ中国）で先進国の基準の導入・相互承認を推進する動向にリンクし、アジア地域産業の基準化（標準）すなわち関連する不可欠な現地情報を提供するビジネスモデルを企画・立案。

2004.10 「アジアにおける基準（標準）情報提供サービス」事業準備。

アジア地域の中でも生産規模が大きく、かつ情報収集の困難な中国からスタート。情報入手ルートを自動車関連に特化・集中し、中国との政府機関・人脈ルートを構築する。

2005.3 中国標準出版社と提携契約を締結し、中国国家標準の日本独占販売代理権締結に至る。

2005.3 正式名称 Advanced Standard Information Center in Asia：通称名 ASICA 商標登録申請。事業名称を ASICA 事業部と正式に名乗る。

2005.4 自動車業界団体、自動車関連企業 25 社へのプレゼンを行う。

ASICA 事業システムを構築し、本格稼働を開始する。

2005.7 中国北京・中国国家標準化管理委員会に現地訪問し、関連役員と将来的な事業展望を検討。

2005.8 中国国家標準化管理委員会幹部一行来社、アクロスユーと共通の見解を達成し、将来的な共同協力の意向を発表。

2005.10 中国国家標準管理委員会が標準情報サイトの正式オープン（2005.10.14）の下、中国政府との提携に基づき、日本正規代理店代理協議を締結。

2005.12 中国政府（SAC）「国家標準ネット販売サービスシステム」及び「強制国家標準サイト全文無料閲覧システム」を人民大会堂にて正式発表。ASICA サービスのオプションとして、日本に居ながらタイムリーに正規原本を購入可能とする。

2007.1 アジア地域の法規・基準情報提供サービスから地域範囲の拡充に向け準備を始める。

2008.1 アジア地域のみならず BRICs、NIEs、中東、アフリカなどの新興国を含む、全世界に於ける自動車法規情報を定期的に収集し、分析、翻訳して自動車法規情報をリアルタイムにご提供するサービス『AUTOMOTIVE REGULATIONS 提供サービス』（略称：AUVI, Across U Vehicle Information）を本格開始する。

2012.12 自動車法規情報の収集国を 2011 年にユーラシア経済共同体、コソボ、2012 年には、ASEAN、マケドニア、ラテンアメリカ、UNEP、サモア、ザンビアを追加

2021.4 完成車メーカーならびに部品メーカーとの年間契約を継続 現在に至る。